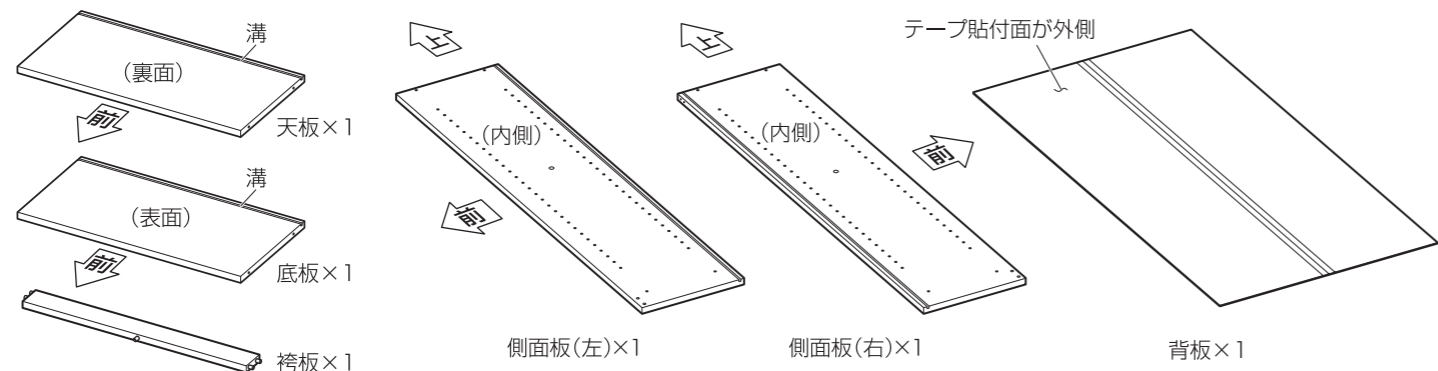


## パーツリスト



パーツ	品番	S-SFR6040 ⑥	S-SFR9040 ⑦	S-SFR1240 ⑧	S-SFR1540 ⑨	S-SFR1840 ⑩
可動棚板 ! 化粧面が前		×2	×3	×3	×4	×5
可動棚板用ピン		×8	×12	×12	×16	×20
本体用ネジ		×8	×8	×8	×8	×8
背板止め用ネジ 背板止め		×4	×4	×6	×8	×8
目隠しキャップ(小)		×8	×10	×10	×12	×12
目隠しキャップ(大)		なし	×2	×2	×4	×4
接着剤		×1	×1	×1	×1	×1
連結ボルト		なし	×1	×1	×2	×2
①転倒防止 壁側用ネジ	②転倒防止 本体側用ネジ	③転倒防止金具		①×2 ②×4 ③×2		

## 仕様

品番	S-SFR6040 ⑥	S-SFR9040 ⑦	S-SFR1240 ⑧	S-SFR1540 ⑨	S-SFR1840 ⑩
製品サイズ	幅約40×奥行約29×高さ約60cm	幅約40×奥行約29×高さ約90cm	幅約40×奥行約29×高さ約120cm	幅約40×奥行約29×高さ約150cm	幅約40×奥行約29×高さ約180cm
耐荷重	天板10kg、棚板1枚あたり10kg、 底板10kg、全体35kg	天板10kg、棚板1枚あたり10kg、 底板10kg、全体40kg	天板10kg、棚板1枚あたり10kg、 底板10kg、全体40kg	天板10kg、棚板1枚あたり10kg、 底板10kg、全体50kg	天板10kg、棚板1枚あたり10kg、 底板10kg、全体60kg
品番	S-SFR6050 ⑪	S-SFR9050 ⑫	S-SFR1250 ⑬	S-SFR1550 ⑭	S-SFR1850 ⑮
製品サイズ	幅約50×奥行約29×高さ約60cm	幅約50×奥行約29×高さ約90cm	幅約50×奥行約29×高さ約120cm	幅約50×奥行約29×高さ約150cm	幅約50×奥行約29×高さ約180cm
耐荷重	天板10kg、棚板1枚あたり10kg、 底板10kg、全体40kg	天板10kg、棚板1枚あたり10kg、 底板10kg、全体45kg	天板10kg、棚板1枚あたり10kg、 底板10kg、全体45kg	天板10kg、棚板1枚あたり10kg、 底板10kg、全体55kg	天板10kg、棚板1枚あたり10kg、 底板10kg、全体70kg
品番	S-SFR6060 ⑯	S-SFR9060 ⑰	S-SFR1260 ⑱	S-SFR1560 ⑲	S-SFR1860 ⑳
製品サイズ	幅約60×奥行約29×高さ約60cm	幅約60×奥行約29×高さ約90cm	幅約60×奥行約29×高さ約120cm	幅約60×奥行約29×高さ約150cm	幅約60×奥行約29×高さ約180cm
耐荷重	天板10kg、棚板1枚あたり10kg、 底板10kg、全体40kg	天板10kg、棚板1枚あたり10kg、 底板10kg、全体50kg	天板10kg、棚板1枚あたり10kg、 底板10kg、全体50kg	天板10kg、棚板1枚あたり10kg、 底板10kg、全体60kg	天板10kg、棚板1枚あたり10kg、 底板10kg、全体70kg
主要材質	プリント紙化粧パーティクルボード、プリント紙化粧繊維板 (MDF)				

※耐荷重は測定値であり、保証値ではありません。商品の仕様は予告なく変更することがあります。

**アイリスオーヤマ株式会社** お問い合わせはお気軽にアイリスコールに  
アイリスコール 受付時間 9:00～17:00  
 〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号  
 ホームページ <http://www.irisohyama.co.jp/> **0120-211-299**  
 収納・インテリアのお役立ち情報サイトはこちら <http://www.iris-interior.com/>

200115-GTO-LIY-01



## スペースフィットラック

S-SFR6040 ⑥・9040 ⑦・1240 ⑧・1540 ⑨・1840 ⑩  
 S-SFR6050 ⑪・9050 ⑫・1250 ⑬・1550 ⑭・1850 ⑮  
 S-SFR6060 ⑯・9060 ⑰・1260 ⑱・1560 ⑲・1860 ⑳

このたびはお買い上げありがとうございます。

この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。  
 また、取扱説明書はお使いになる方がいつでも見ることが  
 できるよう大切に保管してください。

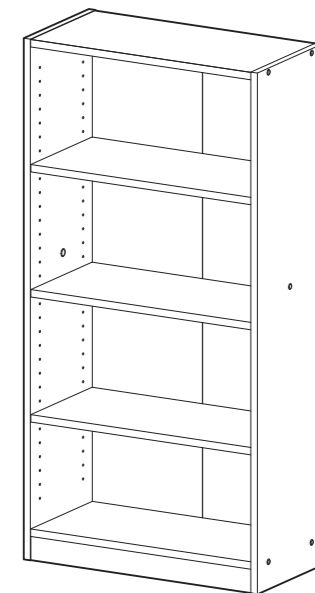
### 必要工具

- ⊕ドライバー
- ※ドライバーは、握り部分が直径3cm以上のものをご使用ください。

### 注意

インパクトドライバーは使用しないでください。破損するおそれがあります。

## 共通取扱説明書



※図はS-SFR1260です。

### 重要 組み立て前に必ずお読みください。

以下の事項を必ず行ってください。行わないと本体の強度が著しく低下します。

●溝に入れる

●ダボに塗る

●穴に入れる

※み出た接着剤は水でしめらせた布などでふき取ってください。  
 ※接着剤が固まるまでグラツキが出る場合があります。

### 安全上のご注意

安全にご使用いただくために下記の事項を必ずお守りください。

用途：室内用収納用品 用途以外の目的には使用しないでください。

### 警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています

- 火気や暖房器具のそばでは使用しないでください。火災や、やけど、製品の変形のおそれがあります。
- 必ず水平で安定した場所に設置してください。
- お子さまがいたずらしないようご注意ください。
- 乗る、ゆするなどの無理な力をかけないでください。
- 規定の重量以上のものを載せないでください。
- 製品を積み重ねて使用しないでください。
- 高さの違う商品は連結できません。

### 注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

- ぬれた場合はすぐ拭き取ってください。
- 移動する際は、のせてあるものをすべておろしてください。
- 組み立てはこの説明書の組み立て手順にしたがって、正しく組み立ててください。
- フローリングの床など傷つきやすい床面での使用は、床のきず、へこみなどの原因となりますので十分ご注意ください。
- 必ず耐荷重以内でご利用ください。
- 一点に集中的に荷重がかからないように、できるだけ均一に置いてください。重いものは、下段に置いてください。
- 全体のぐらつきが多い場合は収納量を減らしてください。
- できるだけ均等な間隔で棚板を付けてください。
- 使用しているうちにネジにゆるみが発生し、ぐらつくことがありますので定期的に締め直してください。
- 腐食やかび・変形・変色の原因となりますので、以下のことにご注意ください。
  - ・直射日光の当たる場所や、高温多湿になる場所に長時間置かないでください。
  - ・水分、油、洗剤などが付着した場合は、素早く拭き取ってください。
  - ・濡れたものや熱いものを置かないでください。
  - ・シール、テープなどを貼らないでください。
- 天災地変や、不当な修理・改造による事故・破損に対する補償は致しかねます。
- 製品および梱包材を廃棄される際は、お住まいの自治体の取り決めに基づいた処理をお願いします。
- 接着剤に含まれる有機溶剤（ホルムアルデヒド）が残っていることがあります。においが気になる時は、換気をよくしてご使用ください。

## お手入れの方法

長くお使いいただくために下記の事項をお守りください。

- 汚れを落とす際は、薄めた住宅家具用合成洗剤で拭いたあと、固くしぼった布などで洗剤分を拭き取ってください。
- アルコール、ベンジン、漂白剤、みがき粉などは使用しないでください。

# 組み立て方

- 大きなものは、重量もありますので2人での組み立てをおすすめします。
- 組み立ては平らな場所で、床などにきずがつかないように段ボールなどを敷いて行ってください。
- 設置場所の近くで組み立てることをおすすめします。

●部品は正確に取り付けてください。

**1 側面板(左)に天板、底板と袴板を取り付けます。**

表紙参照 接着

本体用ネジ×4

側面板(左)

天板

溝

底板

溝

袴板

×3

**2 背板を取り付けます。**

テープ貼付面が外側 背板

化粧面が前

※接着剤は20cm 間隔で、溝に入れてください。

※テープ貼りの 背板は広げて ください。

**3 側面板(右)を取り付けます。**

本体用ネジ×4

×2

側面板(右)

溝

※接着剤は20cm 間隔で、溝に入れて ください。

**4 可動棚板を取り付けます。**

背板が正しく溝に入っている ことを確かめてから可動棚板 を取り付けてください。

高さ90cm以上の商品 は、中央近くに必ず 棚板を1枚取り付けて ください。

可動棚板用ピン

可動棚板

化粧面が前

上から押して、ピンにしっかり はめ込んでください。

開いている 閉まっている

可動棚板を図のよう に、上からピンに差し 込み⊕ドライバーで時計 方向に回してください。

ドライバーで固定 ネジを回し固定し ます。

固定ネジは回し過 ぎないように、注意し てください。 破損するおそれがあります。

**5 背板止めを取り付けます。**

背板止めの数が、 4個の商品はa、b 6個の商品はa、b、c 8個の商品はa、b、c、dの 位置に背板止めを取り付け ます。

背板止めは、側面板を 押さえながら取り付け てください。

背板止め用ネジ

背板止め

10cm

10cm

50cm

50cm

50cm

10cm

10cm

10cm

**6 目隠しキャップを取り付けます。**

目隠しキャップ(小)

目隠しキャップ(大)

**7 転倒防止金具を取り付けて完成です。**

1 転倒防止本体側用ネジ

転倒防止金具

2 転倒防止壁側用ネジ

※壁へは、必ず芯材のあるしっかりとした 木部に付属の木ネジで取り付けてください。

芯材

壁

空間

化粧材

トントン

ポコポコ

●高さ90cmから本体背面に転倒 防止金具を取り付ける必要があり ます。

**連結の仕方**

●S-SFR1540・1550・1560とS-SFR1 840・1850・1860の本体側面には、連 結ボルト穴が2つつあります。

S-SFR1260

S-SFR1240

連結ボルト セット

連結する面は目 隠しキャップを すべてはずして ください。